

薬と食べ物・飲み物との飲み合わせ



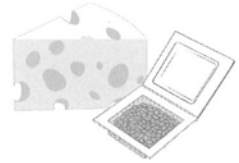
薬局長 坂本 京子

薬には薬どうしだけではなく、食べ物や飲み物との飲み合わせによってその効果が変化することがあり、服用中の薬と良くない組み合わせについては注意が必要です。

注意すべき薬との飲み合わせ

食べ物・嗜好品

- ・カフェイン……睡眠薬（薬の作用が著しく弱くなる）
- ・タバコ………テオフィリン（薬の血中濃度が下降する）
- ・チーズ………イソニアジド、エフピー（顔面紅潮、頭痛、急激に血圧が上昇する）
- ・納豆………ワルファリンカリウム（薬の作用が著しく弱くなる）



飲み物

- ・お茶………お茶に含まれるタンニン酸やカフェインが薬の吸収に影響することが知られているが、今ではお茶での服用には問題ないと考えられている。
- ・ジュース………アンピシリンやエリスロマイシン等の抗菌薬（薬の作用を弱める）
- ・牛乳………テトラサイクリン系抗菌薬、ビスホスホネート製剤（薬の吸収を弱める）
- ・アルコール……睡眠薬（薬の作用が増強する）
糖尿病治療薬（低血糖の症状があらわれる）
- ・コーラ………アスピリン（薬の吸収が遅延する）
- ・グレープフルーツジュース
……一部のカルシウム拮抗薬



（血中濃度が上がり血圧が下がりすぎる）
抗血小板薬、高脂血症用薬、免疫抑制薬
（血中濃度を上昇させる）



- ◆薬はコップ1杯（150～180mL）の水かぬるま湯で飲みましょう。
- ◆お薬手帳を病院・診療所・歯科医院・保険薬局で確認してもらえば、薬との飲み合わせや副作用を防ぐことができます。